

協働事業報告書

事業の名称	西宮船坂ビエンナーレ2009～プロローグ～		
団体名・氏名	船坂里山芸術祭実行委員会	関係課(G)名	参画・協働推進グループ 文化振興グループ 都市計画グループ
事業費	625,068円	市の負担額	100,000円

事業の目的及び内容	<p>(目的) 都会から至近距離にある船坂地域の自然豊かな環境を市民にアピールすることにより船坂を活性化する。あわせて、美術作家にギャラリーとは異なる自然の中の展示場所を無料で提供し、一般市民には展示作品を無料で鑑賞する機会を提供した。</p>	
	<p>(内容) 都会から至近距離の船坂の自然を舞台に美術祭典を行う。2010年度からビエンナーレとしての本格的実施を目標に、2009年度はそのプレ祭典として実施した。</p> <p>美術作家約15人の作品を、船坂の里道沿いの屋内外に1ヶ月間展示し、西宮市民などに無料で鑑賞してもらう。鑑賞に当たっては、さくらやまなみバスの利用を促した。</p> <p>実施主体は、船坂住民有志を中心とする実行委員会を組織し、船坂自治会等地元各種団体との共催又は後援を得て実施した。</p>	
	<p>(市民活動団体等の役割)</p> <p>芸術祭典の実施</p>	<p>(市の役割)</p> <p>広報活動の援助</p>

	市民活動団体等	市
協働事業の成果・効果	<p>1、船坂の住民が、かつてないほどのまとまりをみせ、住民同士の一層の交流、作家との交流、来場者との交流が図れた。</p> <p>2、船坂の風土・環境・人々の素晴らしさを多くの来場者(約5,000人)に体験してもらい、船坂の知名度を高めることができた。</p> <p>3、西宮市の南部市街地の住民をはじめ近隣都市に住む人々に、ゆったりとした日本の原風景の中で、展示する美術作品を十二分に味わってもらえた。</p> <p>4、全国から参加された作家の皆さんが、「他のビエンナーレにみられるような行政主導じゃなく、地域住民主導による素晴らしい芸術祭だった」と絶賛する程の成功を収められた。</p> <p>5、地域のカフェなど飲食店は、土日は満員、平日も2～3割増の経済効果があった。また、野菜即売所を設けた農家も出現した。</p> <p>6、さくらやまなみバスの利用を促した結果、相当の効果があつたように思われる。</p> <p>7、多数の大学生ボランティアが参画した。</p>	<p>(文化振興グループ)</p> <p>都会から至近の場所にあつて豊かな自然に恵まれた船坂を舞台に、市内で初めての「ビエンナーレ」事業が開催され、全国に西宮・船坂の名前が発信されたことは意義があつた。</p> <p>また、この事業は、西宮市文化振興ビジョンの目指す「まちのミュージアム化の促進」や「文化的な地域社会の創造」を推進する取り組みであると同時に市民との協働により文化のまちづくりを進めていくという新たな文化事業のモデルケースになるものであると評価している。</p> <p>(都市計画グループ)</p> <p>船坂ビエンナーレ開催期間中の「さくらやまなみバス」で船坂バス停留所を利用した方は、平日で普段の4割増、休日は2倍以上あつた。</p> <p>このことから、当該事業により、船坂地区の豊かな自然や風土とともに、そこへ行く</p>

		<p>ための交通手段として、また、本市の南部地域と山口地域とを結ぶ唯一の公共交通として「さくらやまなみバス」の存在を市内外の方々にPRできた。</p>
<p>課題</p>	<p>1、来場者のアンケートでは、大多数の人々が2010年のピエンナーレ本格実施を期待しておられた。本格実施のためには、いくつか整理すべき事項がある。</p> <p>本格実施に備えて、協働相手の西宮市に次の施設整備及び人的配置の検討をお願いしたい。実行委員会としては本格実施に向けての検討を始めようと思うが、そのためには、これらの課題が解決されるかどうか重要と考えております。</p> <p>① 参加作家の宿泊施設の整備</p> <p>今回は15人の作家だったが、8月6日間8人、9月16日間延べ26人、10月20日間延べ64人、11月6日間延べ29人、4ヶ月合計48日間延べ127人を地域の民家に無料宿泊してもらい、食事の提供も個人宅で行ったが、宿泊場所を提供した個人宅の負担は過大であった。本格実施をすれば参加作家も増えるので、船坂小学校校舎跡に宿泊室・風呂・便所等を整備し、給食調理場・ランチルームで食事の提供が出来るように要望する。</p> <p>② 事務局体制の整備</p> <p>地域住民主体で実施するとしても、西宮市及び広域な範囲の人々を対象とした大きなイベントを実施するのに、事務局が個人宅では負担が集中しすぎる。船坂小学校校舎跡に電話・印刷機・コピー機等を備えた事務局を設けるべきである。事務局には、最低1名の常勤者(臨時職員可)が配置されるべきである。</p> <p>③ 学生ボランティアの交通費</p> <p>多数の大学生にボランティアとして参加してもらったが、往復1,040円のさくらやまなみバスの運賃が高いのでボランティア半額割引運賃等の適応ができないかとの意見があった。</p> <p>2、廃校後の船坂小学校施設の管理運営について、市と船坂自治会で協議を行っておられるようであるが、船坂里山芸術祭実行委員会は船坂自治会とは別組織です。当実行委員会としては、廃校後の施設利用として、文教住宅都市：西宮市の町づくり施策の一環として、芸術・文化の振興・発信地としての施設活用を要望したい。</p> <p>前第1項の課題解決のためにも、船坂小学校跡の管理運営については、船坂自治会との協議と併せて当実行委員会との協議を要望します。</p>	

自己評価書(船坂里山芸術祭実行委員会)

事業の名称	西宮船坂ピエンナーレ2009～プロローグ～	
団体名・氏名 関係課(G)	船坂里山芸術祭実行委員会 参画・協働推進グループ、文化振興グループ、都市計画グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	①. できた	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	①. 期待どおり	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	1. 非常にあった	主な理由  市政ニュース、さくらFMによる広報。 さくらやまなみバスの車内広告。
	②. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>&lt;評価すべき点&gt; 市議会議長・議員・市長・両副市長・各局長をはじめ市関係者が関心深く 来場していただいたことにより、地域住民を励ましてもらえた。</p> <p>&lt;反省すべき点&gt; 各新聞社、NHKラジオの報道は大変効果があったが、TV局による報道 がなされなかったのが唯一残念(ケーブルテレビでの放映はありました)。 同時開催の神戸ピエンナーレがNHK-TVで報道されていたのは、「神戸 市が大金をつぎ込んだイベントだったためか」と、多くの船坂住民の意見 あり。</p> <p>来場者アンケートにも「神戸にも行ったが船坂は素晴らしい。TVで報道し てもらおうべきだ。」との意見があった。協働相手の西宮市として、もう少し 踏み込んでTV局への対応をしていただきたかった。</p>	

自己評価書(文化振興グループ)

事業の名称	西宮船坂ビエンナーレ2009～プロローグ～	
団体名・氏名 関係課(G)	船坂里山芸術祭実行委員会 参画・協働推進グループ、文化振興グループ、都市計画グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	①. できた	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	①. 期待どおり	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	①. 非常にあった	主な理由  多くの来場者があり、西宮・船坂の名前を全 国に発信できた。  西宮市文化振興ビジョンの目指す「まちのミ ュージアム化の促進」や「文化的な地域社会 の創造」を推進する取り組みであった。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>&lt;評価すべき点&gt;</p> <p>今後の市民と行政が参画と協働で文化のまちづくりを進める新たな文化事業のモデルケースになった。また、同時期に21年4月にオープンした山口ホール展示室で本事業に協賛して「新西宮百景展覧会」を開催し、2,000人を超える来場者があり、山口地域で連携して文化事業を実施できた。</p> <p>&lt;反省すべき点&gt;</p> <p>宝塚市、神戸市、三田市など周辺市にもさらに広報を行う必要があるのではないと思われる。</p> <p>現代美術の作品の説明を現地やパンフレットに入れることや、順路がわかりにくい場所があったので今後の開催にあたっては、検討していく必要があるであろう。</p>	

自己評価書(都市計画グループ)

事業の名称	西宮船坂ビエンナーレ2009～プロローグ～	
団体名・氏名 関係課(G)	船坂里山芸術祭実行委員会 参画・協働推進グループ、文化振興グループ、都市計画グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	①. できた	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	1. 非常にあった	主な理由 利用実績から一定の PR の効果があったもの と思われる。
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>&lt;評価すべき点&gt; 地域イベントとして画期的な試みで、市内外から注目され、多くの来場者があったことや、地元のこうした積極的な取組みについて評価すべき点と考える。</p> <p>&lt;反省すべき点&gt; 南部地域からの唯一の交通機関である「さくらやまなみバス」だが、土日は特に便数が少なく、利用者にとって不便であったかもしれない。 今後も、こういった協働事業により、更なる PR 活動等を行うなど、利用促進を図っていきたい。</p>	

